

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

評価結果

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	仮称)房王寺町複合福祉施設新築工	階数	地上5F
建設地	神戸市長田区房王寺町6丁目2番3号	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	107人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年1月20日
敷地面積	3,184 m ²	作成者	株式会社黒田建築設計事務所 凶資
建築面積	1,107 m ²	確認日	
延床面積	3,501 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 81%
③上記+②以外の 81%
④上記+ 81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.0	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
配慮の概要 ・高齢者等が円滑に移動できるよう、内外共段差のない計画とした。また、寝台用EVおよび乗用EVを1基ずつ配置し、多様な利用に配慮した。 ・利用者使用の居室出入口は、車いす利用者に配慮し、全て有効800以上を確保した。また、個室は、ベッドが出入り可能な有効1200の引き戸とした。 その他の配慮事項		
配慮の概要 ・開口が多く、プランが複雑であることから、自由なレイアウトに対応でき、地震に対して韧性で抵抗する鉄骨造を採用した。 ・構造計算は、建築基準法に基づき、保有水平耐力計算による。また、長期応力を考慮し、静的弾塑性荷重増分解析とした。 保有水平耐力は、崩壊メカニズムの形成または、いずれかの		
配慮の概要 ・建物を接道面に対してL型に配置することで、圧迫感を軽減するよう配慮した。 ・また、木目調ルーバーを採用するなど、温かみがある外観が形成されるよう計画した。屋上の設備置場についても、目隠しルーバーを設置し、まちなみに配慮した計画とした。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される